

|   |   |        |      |
|---|---|--------|------|
| 学校名   | 伊那小学校   |        |      |
| ホームページURL   | www.ina-ngn.ed.jp/~inasho/  | 児童・生徒数 | 816名 |
| (1) テーマ<br>ポニーのサクラとともに<br>テーマの分類( )<br>下記の欄外記載事項を参照してください。  | (2) 活動の単位に をつけてください<br>学級・同一学年・3～4年<br>5～6年・学校・<br>その他( )<br>該当学年 3年<br>(回答可能な場合) |        |      |
| (3) 活動のねらい<br>・ポニーの飼育を通し、友と一緒に活動することへの喜びや楽しさを感じるとともに、いのちの大切さを感じ生き物を愛する心情を養う。  |   |        |      |
| (4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等)<br>・一昨年度よりの継続飼育である。学校の一角にある飼育広場で飼育している。ポニーに赤ちゃんを産んでほしいとの願いから昨年度種付けを行い、今年度は、出産の準備、生命の誕生にかかわる学習を行ってきた。また、ポニーへの思いを作文に書き表す学習も積み重ねてきた。<br>時数(200)  |   |        |      |
| (5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等)<br>・学級を母体とした校内体制であるので、担任が指導している。必要に応じて馬主さん、獣医師、馬に詳しい大学の先生などをお願いし、学習の協力をいただいている。毎日、散歩・世話等をしているが、担任が付き添い安全に配慮している。子どもたちはポニーの動きに慣れ、怖がったり怪我をしたりすることはない。   |   |        |      |
| (6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等)<br>・総合活動の時間は、年間を通じて行き、平均したときに週5～6時間になるように弾力的に運用している。教科との無理な結び付けはしないが、今年度は、3年間の飼育の集大成として、ポニーへの思いを歌や作文、絵、絵本等に表す学習を、音楽、国語、図工等と関連させて扱った。   |   |        |      |
| (7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際)<br>・本校での総合学習の評価は、個の具体の姿を丹念に見とることで行っている。その子の姿から、その子の求めや願いを探り、どのように乗り越えようとしているか、どんな力を付けているかを探っている。本実践では、ポニーへのかかわり方や作文などから、その子の願いや身につけた力などを評価した。   |   |        |      |
| (8) 成果と課題<br>・作文学習においては、自分の思いを表すことについて顕著な進歩が見られた。紙や作文への抵抗がなくなり、自分なりの表現を考えながら書いたり、友だちの良い表現を見つけようとする目が育ってきた。ポニーへの種付けはうまくいかなかったが、赤ちゃんを産んでほしいという自分たちの願いでかかわっていた子どもたちが、ポニーの気持ちに寄り添い、「寂しい気持ちは私たちよりもポニーの方が強い。」「赤ちゃんが生まれなかったポニーを元気づけてあげたい。」という気持ちに変容していった。ここに情意の深まりがある。 |   |        |      |

テーマの分類 横断的・総合的な課題( -ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境  
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題